# あさひコミュニティだより

編集責任者
あさひコミュニティ推進協議会
発行責任者
荒川　光
編集責任者
勝見眞久

## 第37回定期総会開催される

第37回あさひコミュニティ推進協議会総会が5月19日（土）、大久保小山市長、黒須市民生活課長、中谷城南交番所長他の来賓を迎えてコミュニティセンターで開催された。議長に杉山理事を選出、平成23年度事業報告、部会活動報告・会計決算報告を承認し、引き続いて今年度の事業計画予算案が採択された。また、市から申し入れのあった城南地区中心施設（仮称）の指定管理者指名を受け入れることとした。

あさひ地区コミュニティー推進

コミュニティ活動の基本方針である地区内各自治会との密接な連携の下、理解と協力により参加意識の高揚を図ることなどを申し合わせた。

本年度は役員改選時期にあたり以下の役員が選任された。

（＊は新任の役員）

会長　荒川　光（旭町東）
副会長　阿久津　勇（大聖寺）
※副会長　阿美　良和（駅南町）
※副会長　寺本　孝雄（緑町）
※監事　杉山　浩章（駅東）
※監事　島崎　隆（通宿東）

理事　大塚　克己（駅東二）
理事　杉山　浩章（駅東）
理事　阿美　良和（駅南町）
理事　浅野　和朋（天神町）
理事　荒川　光（旭町東）
理事　五月女英雄（旭町西）
理事　重田　範一（旭町南）
理事　寺本　孝雄（緑町）
理事　新井　滋二（稲荷町）
理事　阿久津　勇（大聖寺）
理事　小澤　正治（南城南）
※理事　中川　賢治（城南F、P、）
理事　島崎　隆（通宿東）

総務部会
部長　山崎　好一（旭町南）
副部長　澤口　茂利（駅東）
副部長　阿部晃一郎（駅南町）

体育部会
部長　江原　輝雄（大聖寺）
副部長　中山　栄（駅南町）
副部長　蓑田　学（旭町南）

教育文化部会
※部長　下出　敏達（通宿東）
副部長　岩崎　貞子（旭町東）
※副部長　中山　雅子（駅南町）

生活環境部会
※部長　長谷川トミ子（旭町東）
副部長　望月　安枝（旭町南）
※副部長　郡司　美雪（通宿東）

交通安全対策部会
部長　清田　恒雄（旭町東）
※副部長　磯部　嘉夫（駅東二）
※副部長　大島　日吉（稲荷町）

広報部会
部長　勝見　眞久（旭町西）
副部長　山口　寛昌（旭町南）
※副部長　阪井　清（旭町東）

本部事務局
庶務　宮田　初江（大聖寺）
庶務　澤口　茂利（駅東）
会計　山口　寛昌（旭町東）
会計　寺嶋　浩志（旭町南）
大島　秀子（旭町南）

### 参考

小山市あさひコミュニティ推進協議会は現在次の13自治会で構成されています。

（2012年4月現在）

| 自治会名 | 会長 | 世帯数 |
|---|---|---|
| 駅東二丁目 | 大塚　克己 | 616 |
| 駅東 | 杉山　浩章 | 961 |
| 駅南町 | 阿美　良和 | 650 |
| 天神町 | 浅野　和明 | 78 |
| 旭町東 | 荒川　光 | 820 |
| 旭町西 | 五月女英雄 | 623 |
| 旭町南 | 重田　範一 | 1,435 |
| 緑町 | 寺本　孝雄 | 225 |
| 稲荷町 | 新井　滋二 | 312 |
| 大聖寺 | 阿久津　勇 | 481 |
| 南城南 | 小澤　正治 | 54 |
| 城南ＦＰ | 中川　賢治 | 96 |
| 通宿東 | 島崎　隆 | 845 |
| | 合計 | 7,196 |

世帯数はあさひコミュニティ登録数

**近隣自治会の新たな参加・加入をお待ちしています**

## ごあいさつ

あさひコミュニティ推進協議会

会長　荒川　光

会員の皆様、日頃よりコミュニティ活動に参加ご協力いただき誠にありがとうございます。当コミュニティも、県第1号指定を受けましてから、37年も過ぎてしまいました。この間にも世の中全体が急激に変化しております。特に生活の便利さばかりを追求したり、核家族化が進行し家族間の協力が薄くなることが起きたり、自己の権利のみを主張し相手を思いやる心が薄くなり、うまく話できない環境となっております。このような時代だからこそ、少し考えの方向を変えて、ご近所（向こう三軒両隣）は・自治会は・コミュニティはと、身近なふれあいの場である地域の活動に参加して頂き、日本の村社会によく見られた、近所の人々がお互いに良く知り合って話をし、困った時気軽に声をかける事のできる環境づくりを考えています。

また来年4月にはコミュニティ活動の拠点となる城南地区中心施設（仮称）が開館の予定です。ますますの発展に努力をしながらコミュニティは安全・安心の町づくりを目標にしております。皆様の協力で自分の住みよい町になることと思います。加入13自治会の絆を深める事は勿論、近隣自治会にもコミュニティ活動について理解をいただける様、働きかけをおこないます。

## 自治会の紹介

協議会を構成する13自治会の中から今回は次の3自治会を紹介します。

### 旭町東自治会

自治会長　荒川　光

本自治会は平成9年4月に旭町自治会を3分割し、旭町東自治会、旭町西自治会、旭町南自治会として誕生いたしました。16年が経過しまして現在の会員数は約800世帯を超えており、今も少しずつ世帯数が増えております。昭和50年頃より急激に宅地開発が進んだ結果で、もともと住んでいた方は大変少数であります。全国からいろいろな考えを持つ方々が集まりそれぞれの生活習慣をしています。

自治会運営の心を一つにして自治会のカラーを出すにはまだまだ時間が必要と思います。会員の代議員でありますます班長さんを中心に少しずつ誰もが気軽に協力・参加できる自治会を目指して日々精進しております。

年間行事は4月新班長と年間行事の打ち合わせ会議、7月祇園祭（旭町東・旭町西・旭町南3自治会合同）・9月防災訓練・10月ふれあい祭り（敬老会事業含）・11月市体育大会参加・1月小山市市長懇談会を実施しております、特に懇談会は市政方針を聞き市民の声を直接行政に伝える事で市と市民が互いの立場を理解し、密な関係を保ちながら事業を進める事が大切と思います。

また自治会活動で毎週おこなう防犯・防火パトロール、年2回の森子塚・あさひ公園清掃、年末1回粗大ゴミかたづけ等をしています。一つの事業については自主的参加を呼びかけながら知り合いを一人でも多くつくり住んで良かったと思う安心・安全の自治会を目指しています。

### 天神町自治会

自治会長　浅野　和朋

天神町自治会は約470世帯で天神町地区と神山地区からなります。ＪＲ宇都宮線で東西に分断され、旭コミュニティには神山地区の約60世帯が入会しており、旭小や城南中のコミュニティ活動以外は事業への参加が少ないのが実情で、協議会の中で一番高齢化率、少子化率が高い地域です。更に昨年自治会長が16年ぶりに交代し、役員も一新して不慣れであり、皆様のご指導をお願いします。

さて、昨年は東日本大震災の影響で夏祭り「小山祇園祭」における三町間神輿（須賀町、神明町、天神町）の渡御が自粛されました。今年は前述のように役員も一新しており、町内の元気を結集しようと、まずは「神輿を自分達だけで担ごう」と意気込み、事前準備も周到に7月の夏祭りを実施したところ、想定以上の担ぎ手の参加者を得て成功裏に終了し、参加者の一体感、喜び、感謝を強く感じることが出来ました。と同時に子供の減少が深刻で、「子ども神輿をどうするか」が新たな問題点となっているところです。

昨年の災害で「いざという時こそ普段からの地域コミュニティがいかに大切か」を教えられました。地震、防犯、防災、交通安全等など地域の人々が支えあうためには顔の見える関係や絆が不可欠です。町内組織は36班で構成され、班長さんは1年任期ですので情報管理、継続が大変です。そこで今年から情報を一元化するため班内の高齢者、乳幼児小学生、消火器設置場所、ごみ収集所、防犯灯、安全ミラー等の情報を、班と自治会が常に共有するための確認作業を実施し継続していく事としました。

子どももお年寄りも地域で、社会で見守る時代になりました。そのためにも自治会活動をさらに活性化し、子どもからお年寄りまで明るく暮らせるまちづくりを皆さんと共に進めていきたいと思っています。

### 駅南町自治会

自治会長　阿美　良和

私達の自治会は昭和34年8月31日祝町自治会として設立。当時の地番は「大字小山」でした。詳細についてはわかりませんが運営、活動をされてきました。

駅南町地域土地区画整理事業により田畑林から閑静なる住宅地に変貌しました。駅にも近く通勤通学や買物にも便利で、住宅や商店も徐々に建ちはじめ、顕著に発展を遂げながら、昭和48年に「駅南町自治会」と改称した53年の歴史ある自治会でもあります。

平成元年に公民館建設委員会を発足し、携わった会長、役員12名の御尽力と会員皆様の資金の提供により平成3年に自治会活動の拠点となる駅南町公民館が建設誕生いたしました。現在公民館は総会、敬老会や各事業の実行委員会、カラオケ会、趣味の会、交通安全講座、育成会、ソフト会等で毎週利用されております。公民館掃除は育成会、中ＰＴＡ、長寿会、ソフト会、役員会が1ヶ月当番制で実施しています。

現在の自治会は会員数651世帯を60班4ブロックに分け、自治会役員30名で活動しています。活動方針は、会員相互の親睦と協調を計り関係団体と諸連携し、安全安心なまちづくりをすることです。事業は近接自治会同様に年間を通して「総会」「夏祭り子供神輿」「敬老会」「みなきん祭」「自主防災総合訓練」「防犯防火夜間パトロール」「合同体育大会」毎月第2第4土曜日に資源物回収を実施しています。

自治会の最大のイベントである「みなきん祭」を紹介します。以前は当自治会も近接自治会同様に旭小学校の校庭で運動会を開催していましたが年々参加者が減少し、目的である会員相互の親睦、親子のふれあい、地域での活性化の達成が出来ないと判断し、平成6年に名称を公募。当続く時6年生男子の提案で「みんなあつまってきんさい」の言葉を短縮して「みなきん祭」に決定。プログラムの内

▼裏面へ続く